

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。		
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	黒巢　幹天　他2名	実務経験	○
実務内容	医学研究所にて勤務後、調剤薬局にて薬剤師として勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～3章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系、筋系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第4章～6章)	神経系、感覚器、血液の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第7章～8章)	循環器系、呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
5	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造　1項 毛
6	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚付属器官の構造　2項 脂腺　3項 汗腺　4項 爪 皮膚の循環器系と神経系

7	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能
8	まとめ(第1章～第4章)	テストを実施する
9	解説	振り返り・解説
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項 皮膚炎・湿疹 3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾 6項 温熱・寒冷による皮膚障害 7項 角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項 ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	解説	振り返り・解説
16	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り

29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	社) 日本理容美容教育センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	加藤 亜希		実務経験	○	
実務内容	サロン実務履歴20年、サロン店長、フリーランス美容師を経て、現役美容師として活動中				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治）		明治・髪型・服装について		
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治）		明治・・服装について		
3	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節 近代（大正・昭和20年代）		大正・昭和の髪型・服装について		
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代（1945～1950年代）		1945～1950年代の髪型・服装について		
5	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代（1960～1970年代）		現代（1960～1970年代）の髪型・服装について		
6	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代（1980～1990年代）		現代（1980～1990年代）の髪型・服装について		

7	第3章 ファッション文化史日本編 第11節 現代（1980～1990年代）	現代（1980～1990年代）の髪型・服装について
8	第3章 ファッション文化史日本編 第12節 現代（2000～2010年代）	現代（2000～2010年代）の髪型・服装について
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総まとめ	振り返り・解説
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説

26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。		
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	加藤 亜希 他1名	実務経験	○
実務内容	サロン実務履歴20年、サロン店長、フリーランス美容師を経て、現役美容師として活動中		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する
4	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する

5	第2章 理容業・美容業の経営について第3節	理容業・美容業における競争を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について第4節 第5節	競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する
10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P48～P61
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章 従業員のとしての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	振り返り	振り返り・解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P68～P71
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P71～P73
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ

20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章健康・安全な職場環境の実現 第3節 第4節	理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム①を学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	サービス・システム②、新しいサービスをデザインする。
25	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
26	第3編 顧客のために 第2章 サービス・マーケティング	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客についての理解を深める。接客の実践①―③を理解する。
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客におけるトラブル対応を理解する。
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。		
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	工藤　渉	実務経験	○
実務内容	美容師歴２６年　美容業経営者として１９年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章　エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおける カウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサー ジ 7. フェイシャルパック　8. ボディケア 技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント

3	« 9章 ネイル技術 » 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	« 10章 メイクアップ » 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー	・メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮、真皮、皮下組織・フェイスプロポーション、顔の各部の名称・色彩について、色の三属性、色相、明度と彩度、色調・パーソナルカラー、spring, summer, Autumn, winter
6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. ブライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類、衛生について、手指の消毒、タオル類の消毒、用具の洗い方、ブラシ類、パウダーパフ、アイシャドーチップ、用具の消毒方法、消毒の手順、血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合・メイクアップ スキンケア、クレンジング、化粧水、乳液、スペシャルケア・ベースメイクアップ 化粧下地、毛穴補正料、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー・ブラッシュオンメイクアップ、チーク、ハイライト、シャドー・アイブロウメイクアップ、眉の毛の流れ、眉の形の基本、代表的な眉の形・アイメイクアップ、アイカラー（アイシャドー）、アイライン、アイラッシュカール、マスカラ・リップメイクアップ、代表的なリップライン・ブライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバーメイクアップ、眉、シャドー、リップケア・肌質別修整メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
7	10. まつ毛エクステンション	・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
8	総まとめ	テストを実施する 8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
9	« 11章 日本髪 » 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 5. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 10. かつら	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
11	« 12章 着付けの理論と技術 » 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 9. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 14. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術

13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	解説	振り返り・解説
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマメントウエービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。		
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。		
評価基準	テストおよび小テスト：８０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	野澤　馨	実務経験	○
実務内容	某大学にて１０年間、民法の講師を行う。現在は都内で要配慮児童・生徒の学習支援、生活支援を行う。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章　法制度の概要 第1節　第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章　法制度の概要 第3節　第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章　衛生行政の概要 第1節　～　第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章　理容師法・美容師法 第1節　第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章　理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程

6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する
8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律、業の振興に関連する法律
20	第4章 関連法規	雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（１）	国家試験過去問演習等
29	総復習（２）	国家試験過去問演習等

30	総まとめ	総まとめを実施する
----	------	-----------

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で衛生面についての理解する。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	遠藤　翔太	実務経験	○
実務内容	薬剤師として製薬メーカーにて衣料品の開発に携わった後、調剤薬局に１０年以上勤務。 店舗責任者を経て、現在はエリア統括責任者として活躍している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
2	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
3	感染症	感染症のまとめと問題演習
4	総まとめ	総まとめを行う
5	第4編　衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
6	第4編　衛生管理技術 2章消毒法各論①	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意

7	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論②	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
8	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論③	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
9	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
10	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取扱い等
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第 5 消毒～第6自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総まとめ	振り返り・解説
16	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	2	60
使用教材	香粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実際の知識の習得する。		
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。		
評価基準	テスト：５０％　小テスト：３０％　授業態度：２０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目	衛生管理、美容保健、美容技術理論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松野　佳代子	実務経験	○
実務内容	メーカーにて研究者として７年勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 第1章：香粧品総論 第2章：香粧品を使用する際に気を付けること	香粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：香粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：香粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：香粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験

6	第3章：香粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用香粧品・コンディショニング用香粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用香粧品・サンケア製品・美白用香粧品・ニキビ用香粧品・打粉類・パック剤
9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用香粧品、ヘアコンディショニング用香粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	前期総まとめ	振り返り・解説
16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
18	香粧品化学総合①	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	香粧品化学総合②	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	香粧品化学総合③	香粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説

30	国家試験対策	総まとめ
----	--------	------

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	総まとめ４０％　まとめ３０％　提出物２０％　授業態度１０％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－Ｃ・美容実習Ⅱ－Ｅ		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	田村勇人　他12名	実務経験	○
実務内容	個人サロン兼トータルビューティーサロンにて4年間美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウェーブ・リッジ）復習、計測27分～25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピンング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入

5	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール復習、強化
6	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分～1 7 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール復習、強化、7 段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目、くり抜き復習、計測 2 0 分～1 7 分 4 段目 右リフトカール、5 段目左リフトカール復習、強化、計測各カール 3 分、美容師国家試験衛生 6 段目メイポール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、7 段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目、くり抜き、4 段目右リフトカール、5 段目左リフトカール計測 2 6 分 6 段目メイポール、7 段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7 段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7 段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測 4 段目～7 段目カール 1 2 分 7 段構成 計測 3 5 ～3 0 分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する（全頭35分） 7 段構成 計測 3 5 ～3 0 分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0 ～2 5 分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7 段構成 3 0 ～2 5 分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7 段構成 2 5 分 美容師国家試験衛生
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	ワインディング：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ 国家試験カット：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－Ａ美容実習Ⅱ－Ｃ・美容実習Ⅱ－Ｄ・美容実習Ⅱ－Ｅ		
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の２領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	田村勇人　他１２名	実務経験	○
実務内容	個人サロン兼トータルビューティーサロンにて４年間美容師として勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き20分

6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測 20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム

14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	ワインディング：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％ オールウェーブ：総まとめ２０％　まとめ１５％　提出物１０％　授業態度５％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－Ａ・美容実習Ⅱ－Ｂ・美容実習Ⅱ－Ｅ		
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の２領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
各回の展開【オールウエーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	オールウエーブセッティング・美容師国家試験衛生

11	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カットニング教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットニングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験第2課題：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する

5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
各回の展開【国家試験第2課題】		
回数	単元	内容
1	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験課題 テスト	国家試験課題・美容師国家試験衛生 テストを実施する
6	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
8	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験課題 まとめ	国家試験課題・美容師国家試験衛生 テストを実施する

12	国家試験課題	国家試験課題・美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・カットイング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験 第1 課題・第2 課題・国家試験衛生合格レベルを習得する		
評価基準	総まとめ40％　まとめ30％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ－A・美容実習Ⅱ－B・美容実習Ⅱ－C・美容実習Ⅱ－D		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

6	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第 1 課題・第 2 課題 まとめ	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する
8	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第 1 課題・第 2 課題	国家試験第 1 課題・第 2 課題・美容師国家試験衛生
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	国家試験第 1 課題・第 2 課題 総まとめ	振り返り・解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・花嫁テキスト(ブライダルコースのみ)・衿芯・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(下着)・クリップ(5)・足袋			出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につける (ブライダルコース)着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、 ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける		
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け３級（６月強制受験 免許強制） ・きもの着付け２級（１２月強制受験 免許任意） を取得することが出来る。 (ブライダルコース)礼装・花嫁着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け２級（５月強制受験 免許強制） ・花嫁着付３級（１２月強制受験 免許強制）を取得することが出来る。		
評価基準	検定試験：４０％ テスト：３０％ 授業態度：３０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格		
関連科目	美容実践Ⅰ－Ｃ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小野麻紀子	実務経験	○
実務内容	・各種撮影(広告/イベント/映画)での各種着付け(振袖/袴/訪問着) ・各種ウェディング(ハウス/レストラン)での列席/花嫁着付け ・現役着付師、撮影スタイリストとして、主にスチール撮影着付け(振袖前撮り/婚礼前撮り)を得意として実績を積む ・実技者としてだけでなく、現場責任者や育成者としても活動中		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション (ブライダルコース)振袖の着せ方 3	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認 (ブライダルコース)考査票の記入、 振袖着付を仕上げる（検定対策）
2	小紋の着せ方 1 (ブライダルコース)振袖の着せ方 4	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する ブライダルコース)振袖着付を仕上げる（検定対策）
3	小紋の着せ方 2 (ブライダルコース)振袖の着せ方 5	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する (ブライダルコース)振袖着付を仕上げる（検定対策）
4	小紋の着せ方 3 (ブライダルコース)振袖の着せ方 6	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する (ブライダルコース)振袖着付を仕上げる（検定対策）
5	小紋の着せ方 4 (ブライダルコース)振袖の着せ方 7	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する (ブライダルコース)振袖着付を仕上げる（検定対策）
6	小紋の着せ方 5 (ブライダルコース)検定向上会	小紋の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)総仕上げ、検定試験の流れについて
7	小紋の着せ方 6 (ブライダルコース)検定試験	小紋の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)きもの着付 2 級検定試験を実施する
8	小紋の着せ方 7 (ブライダルコース)留袖の着せ方 1	小紋の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
9	検定向上会 (ブライダルコース)留袖の着せ方 2	総仕上げ、検定試験の流れについて (ブライダルコース)二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
10	検定試験 (ブライダルコース)浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び（20 分））を実施する (ブライダルコース)女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
11	座学 1 (ブライダルコース)座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）を学ぶ 試験結果を通知する (ブライダルコース)着物の TPO（プリント③④）を学ぶ
12	浴衣の着方・着せ方 (ブライダルコース)花嫁着付内容説明	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する (ブライダルコース)デモンストレーション、小物の準備/使い方/片付けについて
13	座学 2 (ブライダルコース)花嫁着付 1	着物の TPO（プリント③④）を学ぶ (ブライダルコース)補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合学習	振り返り・解説

16	振袖の着せ方 1 (ブライダルコース)花嫁着付 3	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する (ブライダルコース)考査票の記入、 補整、長襦袢、掛下の着せ方（衿合わせ）を学び実践する
17	振袖の着せ方2 (ブライダルコース)花嫁着付 4	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する (ブライダルコース)補整、長襦袢、掛下の着せ方（裾引き）を学び実践する
18	振袖の着せ方3 (ブライダルコース)花嫁着付 5	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する (ブライダルコース)掛下までの着付を実践（復習）する
19	振袖の着せ方4 (ブライダルコース)花嫁着付 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20	振袖の着せ方5 (ブライダルコース)花嫁着付 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)掛下の着付の実践（復習） 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
21	振袖の着せ方6 (ブライダルコース)花嫁着付 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方7 (ブライダルコース)花嫁着付 9	振袖の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方 8 (ブライダルコース)花嫁着付 1 0	振袖の着付を仕上げる（検定対策） (ブライダルコース)掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
24	検定向上会 (ブライダルコース)花嫁着付 1 1	総仕上げ、検定試験の流れについて (ブライダルコース)掛下の着付と文庫結びを仕上げる（検定対策）
25	検定試験 (ブライダルコース)検定向上会	きもの着付け 2 級検定試験（振袖にふくら雀 3 0 分）を実施する (ブライダルコース)総仕上げ、テストの流れについて
26	留袖の着せ方 1 (ブライダルコース)検定試験	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について (ブライダルコース)花嫁着付け 3 級検定試験を実施する
27	留袖の着せ方2 (ブライダルコース)打掛の掛け方	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ (ブライダルコース)掛下に文庫結び、お絡げ・褌どり・お搔い取り、検定結果通知 たたみ方テストを実施する
28	紋服の着せ方 (ブライダルコース)紋服	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について (ブライダルコース)紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴の着せ方 (ブライダルコース)女袴	女袴の着せ方について学び実践する (ブライダルコース)女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う (ブライダルコース)国家試験対策としてテストを実施、解説する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	リクルートガイドブック		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としての自覚を持たせ、社会のマナーやルールを学び内定合格に繋げる		
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 常に自信を振り返り、求められる人材になれるよう自己成長を行う		
評価基準	授業態度 30 % ・ 提出物 30 % ・ テスト 40 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田村 勇人 他3名	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動に関して	就職規定
2	電話、ビジネスメール指導	就職先への電話のかけ方、メールの送り方について学ぶ
3	履歴書作成①	志望動機・自己PRを作成し、履歴書を完成させる
4	履歴書作成②	志望動機・自己PRを作成し、履歴書を完成させる
5	面接対策①	面接の種類を理解し、それぞれの対策方法について学ぶ
6	面接対策②	対面面接での流れ、ポイントを理解する

7	面接練習③	WE B面接の重要性を理解し、WE B面接を実践する よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
8	面接練習④	グループ面接の重要性を理解し、グループ面接を実践する よく聞かれる質問に対して、受け答えが出来るように学ぶ
9	選考対策	二次募集、中途採用の条件について
10	社会人基礎力について①	社会人として求められる考え方・行動について理解する
11	社会人基礎力について②	長期就労のためのコンテンツ（目標、モチベーション維持）
12	一般常識対策	一般的な漢字の読み書き・計算
13	一般常識対策	一般常識対策問題
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
16	就職規定再確認	就職対策授業計画と評価について 就職スケジュール振り返りと再設定 内定者は入社までの過ごし方を考え目標設定する
17	社会人に求められるスキル①	求められる人物になるために
18	社会人に求められるスキル②	社会人と学生の違いを知る
19	会社、仕事とは	成果主義について、その他福利厚生について知る
20	人間関係構築力について	人間関係構築力について
21	働く目的	働く目的を考える
22	人生設計について具体的に考える	人生設計について具体的に考える
23	社会人に求められるスキル③	優先順位を考える
24	社会人基礎力について	ストレスコントロール力について
25	初期クレーム対応の仕方について	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ。・クレームの原因について学ぶ
26	接客対応方法	・お客様とのアイスブレイク練習 ・電話対応の仕方
27	冬休みの過ごし方	有意義な長期休みを過ごすための落とし込み
28	テスト	成績評価テスト
29	総まとめ	社会人なる皆さんへ最後のメッセージ

30	総合授業	総まとめ
----	------	------

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師業界における基本的理論技術の習得と グローバルスタンダードに準拠したサービス提供の一連の流れの理解		
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる		
評価基準	【C＆G】検定合格30％　総まとめ20％　まとめ10％　提出物30％　授業態度10％ 【メイク】総まとめ30％　まとめ20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	City & Guilds 国際美容技能認定書／Module.2 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	菅野直人	実務経験	○
実務内容	City & Guilds Examiner Certificate（国際美容技能試験官）　／　Seyfer Learning Academy 講師 サロン勤務歴17年、中国北京にて外国人に向けた講師活動の実施		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・ City & Guildsの概要や国際美容技能試験の規定を理解する ・ 試験の評価項目や合格するためのポイントを理解する
2	カウンセリングカット① (ウィッグ)	・ カットに関するカウンセリング方法やシートの記入方法を学ぶ ・ カットの基本動作およびワンレングスカットを学ぶ
3	カット② (ウィッグ)	・ レイヤーカットおよび毛量調整カットを学ぶ ・ ブラシを使用したブロー技術を学ぶ
4	カット③ (ウィッグ)	・ グラデーションカットおよび毛量調整カットを学ぶ ・ 次回の相モデル実習に向けた施術計画の準備をする
5	カット (相モデル)	・ 相モデルでカットをする際の入客方法やカット技法、注意点などを学ぶ ・ ヘルプの方法や周囲を見ながらサロンワークをおこなう重要性を学ぶ
6	カラー① (ウィッグ)	・ カラーに関するカウンセリング方法やシートの記入方法を学ぶ ・ ウィーピングカラーの基本動作を学ぶ

7	カラー②（ウィッグ）	・ブリーチ剤を使用したウィーピングカラー技術を学ぶ ・ハイライトのデザインを学ぶ
8	カラー③（ウィッグ）	・カラー剤を使用したウィーピングカラー技術を学ぶ ・次回の相モデル実習に向けた施術計画の準備をする
9	カラー（相モデル）	・相モデルでカラーをする際の入客方法やカラー技法、注意点などを学ぶ ・ヘルプの方法や周囲を見ながらサロンワークをおこなう重要性を学ぶ
10	アップ①（ウィッグ）	・アップに関するカウンセリング方法やシートの記入方法を学ぶ ・アップの基本動作を学ぶ
11	模擬試験アップ（相モデル）	・カウンセリングシートを提出し、相モデルでヘアアップの模擬試験をおこなう ・講師からフィードバックをもらい、本試験の準備をおこなう
12	模擬試験（カット・カラー）	・カウンセリングシートを提出し、モデルでのカットカラー模擬試験をおこなう ・講師からフィードバックをもらい、本試験の準備をおこなう
13	試験対策授業	・本試験前最後の確認および復習を行い、本試験に備える
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	本試験②	振り返り・解説

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践

12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等）		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【特殊・アーティスト・モデルメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	【特殊・アーティスト・モデルメイク】 トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる 【ベーシックメイク】 メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・ 【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・ 【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - B				
備考	・ 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・ (ベーシックメイク) + (特殊・アーティスト・モデルメイク)				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【特殊・アーティスト・モデルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ

6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト

14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ブライダルエステ】教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	【ブライダルエステ】日本エステティック協会、日本理容美容教育センター 【ベーシックメイク】ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ブライダルエステ】身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【ブライダルエステ】ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで利用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	・【ブライダルエステ】(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン		
関連科目	美容実践Ⅰ－C		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク)＋(ブライダルエステ)		
担当教員	藤江 奈緒美他1名	実務経験	○
実務内容	美容室勤務ののち、ヘアメイクに転職。広告、雑誌、ブライダルの撮影などで活動。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ブライダルエステ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ：授業準備・ルールについて、ベッドセッティング
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習

5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ1～7(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル1～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Iプリント)－マッサージーふき取り－整肌－誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内－フェイシャルクレンジング－マッサージーふき取り－整肌－誘導
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践

12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、ＪＮＡジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する		
到達目標	基礎技術に加えてＪＮＥＣ２級取得レベルに技術と共に ＪＮＡジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、 サロンワークに対応できる技術を身に付ける		
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級／ＪＮＡジェルネイル検定初級		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	篠原　千裕	実務経験	○
実務内容	フリーネイリストとして、出張サービスをしながら、美容室内でネイルサロンを経営。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
	導入・教材チェック 一年次復習	導入・教材チェック一年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	一年次復習	一年次復習

3	1 年次復習	1 年次復習
	1 年次復習	1 年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2 級後半 実技	2 級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	テスト解説	テストの振り返り・解説
8	ジェルスカルプ 実技	振り返り・解説
	2 級 通し	2 級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2 級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2 級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する

15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	【ネイル検定対策】JNAテクニカルシステム ベーシック、 ネイル用具一式 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキ ストベーシック (デジタルテキスト)		出版社	【ネイル検定対策】NPO法人日本ネ イリスト協会 【ベーシックメイク】ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ネイル検定対策】基礎的なマニキュア技術を実践でき、ＪＮＥＣ３級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	【ネイル検定対策】ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 【ベーシックメイク】メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	・【ネイル検定対策】(検定結果15％・授業態度他5％・筆記テスト15％・実技テスト15％) ・メイク(テスト30％、提出物10％ 授業意欲10％)		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	JNECネイリスト技能検定３級（任意）・JNAジェルネイル検定初級（任意） ２年４月 ２年７～１２月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容実践Ⅰ－Ｅ		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・（ベーシックメイク）＋（ネイル検定対策）		
担当教員	【ネイル】篠原 千裕 【メイク】原田 知子	実務経験	○
実務内容	【ネイル】フリーネイリストとして、出張サービスをしながら、美容室内でネイルサロンを経営。 【メイク】某大手化粧品会社にて美容部員として勤務、また後輩育成担当などにも携わる。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ネイル検定対策】

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リペア(シルクラップ)デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し 受験希望者を確認

3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	
5	チップオン・チップラップ相モデル	
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	
9	ミックスメディアアート	3 Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
13	実技試験（2級と同じ内容）	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践

11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－F		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ－F		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	HAIR COLOR ACADEMYのwebコンテンツ、ウィッグ、ヘアカラー教材一式		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアカラーリスト➡応用的なカラーの考え方が理解・実践できる。 ベーシックメイク➡スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。		
到達目標	ヘアカラーリスト➡コントラストハイライト、バレイヤージュ、シャドールーツのプロセスが明確で、適切に施術できる。狙った色味を表現できる。 ベーシックメイク➡メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。		
評価基準	総まとめ30%　まとめ20%　提出物20%　授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。 この科目は「ヘアカラーリング」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員	原雄也	実務経験	○
実務内容	サロン勤務歴17年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ヘアカラーリング】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）、前期の振り返りを行う
2	実技テスト	ブリーチ＋オンカラー＋薬剤選定についてテストを行う
3	コントラストハイライトとは①	HAIR COLOR ACADEMY コントラストハイライトについて
4	コントラストハイライトとは②	コントラストハイライト 練習とチェックを行う

5	コントラストハイライトとは③	コントラストハイライト 練習とチェックを行う
6	バレイヤージュとは①	バレイヤージュの練習を行う
7	バレイヤージュとは②	バレイヤージュ練習とチェックを行う
8	バレイヤージュとは③	バレイヤージュ練習とチェックを行う
9	シャドールーツとは①	HAIR COLOR ACADEMシャドールーツ（弱）の練習
10	シャドールーツとは②	シャドールーツ練習とチェックを行う
11	シャドールーツとは③	シャドールーツ練習とチェックを行う
12	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る①
13	自由制作	画像を参考に1つのスタイルを作る②
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
各回の展開【ベーシックメイク】		
回数	単元	内容
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践

27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	美容道具一式・美容技術理論Ⅰ		出版社	日本理美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	協調性の意識を高め、アシスタントとしての心得・基礎技術を習得する。		
到達目標	サロンワーク知識の理解と実践		
評価基準	総まとめ30％　まとめ20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	美容実習Ⅱ－A・B・C・D・E・F　美容実践Ⅱ－A		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	廣瀬翔大 他5名	実務経験	○
実務内容	サロン勤務歴12年、美容師講師歴7年		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業ルール、導入、パーマ理論、カット
2	サロン技術	パーマ、スタイリング
3	コンテストに向けて	フォトコンデザイン・デッサン
4	コンテスト準備①	ウィッグ仕込み
5	コンテスト準備②	ウィッグ仕込み
6	コンテスト準備③	ウィッグ仕込み

7	コンテスト準備④	ウィッグ仕込み
8	コンテスト準備⑤	ウィッグ仕込み
9	まとめ	フリーデザイン作品制作
10	サロン技術・カウンセリング	シャンプー＆スパ技術
11	サロン技術・カウンセリング	シャンプー＆スパ技術
12	サロン技術・カウンセリング	接客について
13	サロン技術・カウンセリング	アシスタントの仕事
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
16	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
17	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
18	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
19	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
20	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
21	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
22	モデル撮影	テーマイメージ作成
23	撮影①	スプリング、サマーの撮影
24	撮影②	オータム、ウィンターの撮影
25	卒業制作	卒業制作準備①
26	卒業制作	卒業制作準備②
27	卒業制作	卒業制作準備③
28	卒業制作	卒業制作準備④
29	総まとめ	卒業制作完成 期末試験
30	総合授業	後期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	まつ毛エクステンション教材 美容技術理論 1、2		出版社	日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	積極的に先を見越した行動を起こすことができる		
到達目標	協力して美容業務全般に通じる力をつける		
評価基準	中間テスト20％・期末テスト20％・検定10％・授業態度20％・提出物10％		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容技術理論Ⅱ		
備考	原則、この授業は対面式にて実施する		
担当教員	神戸 瑞穂	実務経験	○
実務内容	横浜市内でサロン現場経験を積み、現在開業して自身のサロンで施術を行う		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・プロアクティブについて・ルール・流れ・用具配布・ワゴンセッティング
2	まつ毛エクステンション概要 用具・材料	座学/教科書、プリント 実技/道具ラベル貼り・ワゴンセッティング・かき分け
3	まつ毛エクステンション概要 用剤	座学/教科書、プリント 実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
4	衛生管理	座学/教科書、プリント 実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
5	衛生管理	座学/教科書、プリント 実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
6	保健皮膚の構造・アレルギー	座学/教科書、プリント 実技/シートタイプ装着

7	中間テスト 保健 眼の構造	習った範囲までの筆記、実技テスト 座学/教科書、プリント 実技/テーピング
8	保健眼の病気	座学/教科書、プリント 実技/テーピング
9	まつ毛の構造	座学/教科書、プリント 実技/装着、リムービング練習
10	カウンセリング	座学/教科書、プリント 実技/装着、リムービング練習
11	期末テスト	座学/全範囲実技/ワゴンセッティング・装着50本
12	デザイン カラー	ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど 長さとかールを選んでデザインする
13	デザイン カラー	ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど 長さとかールを選んでデザインする
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	長さデザイン	振り返り・解説
16	長さデザイン	様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
17	長さデザイン	様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
18	長さデザイン	様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
19	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
20	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
21	中間テスト	全範囲
22	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
23	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
24	アイラッシュ検定対策	検定対策模試
25	検定振り返りデザイン見本作成	カウンセリングに使用するデザイン見本を作成
26	カウンセリングによる 課題解決授業	クレームや考えるトラブルを想定し、ディスカッションする出てきた課題に対して対応策を協議、共有する
27	カウンセリングシート作成	予約時、施術前、施術後、ホームケアに関するカウンセリングシート等を作成する
28	カウンセリング動画学習	これまでの学習を通して、実際のサロンと同じようにカウンセリングをする様子を互いに撮影し、フィードバックする
29	期末テスト	レポート提出
30	国試技術理論対策	国家試験の技術理論の復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアアレンジ教材一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解しさまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を目指す。 1年次に学んだ基礎技術を応用しブライダルヘアメイクに必要な技術を現場を意識して実践できるようにする		
到達目標	・ヘアアレンジ：ブライダルの基礎知識、用語、特性を理解する 逆毛・ピニング・アップスタイル技術を習得しブライダルシーンに合わせたトータルコーディネート出来るようにする ・ネイル：サロンワークの接客態度や言葉遣い、身だしなみを理解する ジェルネイルの基本を学び、技術力を高め様々なブライダルシーンに対応できるデザイン力を身につける		
評価基準	・ヘアアレンジ　：テスト30％　・提出物15％　・授業態度5％ ・ネイル　　　　　：テスト30％　・提出物15％　・授業態度5％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	美容実践Ⅱ-C		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	ヘアアレンジ：森　朱沙美 ネイル：平澤　寿花	実務経験	○
実務内容	ヘアアレンジ：ブライダルヘアメイクの会社にて勤務後、現在はフリーランスヘアメイクとしてブライダル・イベント等のヘアメイクに携わる ネイル：トータルビューティーサロンにてネイリストとして6年勤務後本校に従事する		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ヘアアレンジ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 一年次の復習	①自己紹介②導入（目的・成績評価・授業ルール）③結婚式の定義 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り/ブライダルヘアアレンジについて
2	結婚式の種類の理解 かぶせ夜会	専門式場、ホテル、ゲストハウスなど結婚式を挙げる会場の種類、違いを理解する 有効的な土台の種類・逆毛・すき毛の使いかた 面をきれいにし出す、美しいシルエットの出しかた、ティアラの付け方

3	結婚式までの流れを理解する カールアップスタイル	カップルが結婚式を挙げる事を決めてから当日までの一般的な流れを理解する ホットカーラー速巻き、様々なカールの出しかた
4	結婚式に関わる業種の理解 編み込みアップスタイル	結婚式を創る上でどのようなスタッフが関わっているか、どのような業種があるか理解する 編み込みのアップスタイルへの様々な取り入れかた
5	キリスト教式の理解 サイドアップスタイル	キリスト教式結婚式について理解をする。 土台の形と位置、編み込み、面、シルエットを意識して最適な作り方を考える
6	キリスト教式の理解 サイドアップスタイル	キリスト教式結婚式について理解をする。 土台の形と位置、編み込み、面、シルエットを意識して最適な作り方を考える
7	仏前式、人前式、シビルマリッジ テスト(ヘアアレンジ)	仏前式、人前式、シビルマリッジについて理解する 教員が仕上げたスタイルを当日見て、展開図を作る（提出物）スタイルが仕上がったら発表する(実技テスト・振り返り)
8	アテンド業務について ヘッドパーツの種類と付け方 生花の 扱い方	結婚式のアテンド業務について理解をする ヘアメイクに必要なブライダル知識座学 ティアラ、ボンネ、生花等の飾りの扱い方
9	ドレスフィッティング実践 トレンドスタイル①	ベアになりドレスフィッティング実践を行う。 花嫁トレンドアップスタイル展開図を作り考える（導入・練習）
10	ドレスフィッティング実践 トレンドスタイル①	ベアになりドレスフィッティング実践を行う。 花嫁トレンドアップスタイル展開図を作り考える（導入・練習）
11	ドレスアテンド実践② トレンドスタイル	ドレスフィッティングを行った花嫁にアテンドを実践する トレンドスタイル①又は②を相モデル（ウィッグ）で行い採点
12	洋装衣装知識① 列席ヘアスタイル①	ドレスラインの名称、ブライダルインナー、マタニティドレスなど種類を学ぶ 面を生かした上品なハーフアップ
13	洋装衣装知識② 列席ヘアスタイル②	ヘッドパーツの種類、花嫁が身に付けるアイテムについて理解をする 面を生かした上品なアップスタイル(年配用)
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	テスト返却・前期振り返り 総合授業	振り返り・解説
16	ブライダルの接客理解 和装スタイル①	忌み言葉、六輝、言い伝えなど接客において必要な知識を得る 和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
17	ブライダルの接客理解 和装スタイル①	忌み言葉、六輝、言い伝えなど接客において必要な知識を得る 和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
18	ブライダルの接客理解 和装スタイル①	忌み言葉、六輝、言い伝えなど接客において必要な知識を得る 和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
19	和装アテンド実践① 新日本髪①	ベアになりアテンド実践を行う 新日本髪(練習)
20	和装アテンド実践① 新日本髪①	ベアになりアテンド実践を行う 新日本髪(練習)
21	結婚式当日のスケジュール理解 新日本髪③	挙式当日のスケジュール、新郎新婦の動きを理解する 新日本髪(練習)
22	結婚式当日のスケジュール理解 新日本髪③	挙式当日のスケジュール、新郎新婦の動きを理解する 新日本髪(練習)
23	ブーケ・フラワーアイテムの理解 成人式スタイル	ブーケの名称、フラワーアイテムについて理解をする 成人式用スタイル
24	新郎衣装知識 洋装→洋装チェンジ	新郎の衣装を学ぶ（洋装、和装） 洋装スタイル→和装スタイルへのお色直し

25	ヒアリング実践 洋装→和装チェンジ	ブライダルの接客で最も重要なヒアリング技術を理解し、実践する 洋装スタイル→和装スタイルへのお色直し
26	コーディネートの実践① 和装→洋装チェンジ	ヒアリングを基にお客様に合わせた提案を実践する 和装スタイル→洋装スタイルへのお色直し
27	コーディネートの実践② 卒業制作①	ヒアリングを基にお客様に合わせた提案を実践する テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
28	テスト実施 卒業制作②	テスト実施 テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
29	テスト実施 卒業制作②	テスト実施 テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
30	総合授業	まとめを行う
各回の展開【ネイル】		
回数	単元	内容
1	導入、教材チェック	自己紹介、導入(評価基準、授業ルール、今後の授業について) 教材チェック、セッティング
2	道具説明 基本カットスタイル	各種道具の使い方を説明する ファイル類面取り、ウッドスティック削り チップで基本のカットスタイルを学ぶ
3	筆、ジェルの取り扱いについて 基本アート練習①	筆の扱い方、塗り方を説明し実践 ジェルの取り方、適量なども説明する ワンカラー、ラメグラデーション
4	相モデル(復習) ストーンブッシャーの使い方	ストーンブッシャーの使い方を学ぶ 相モデルで前回の復習(チップと人の手にする場合の差をしっかりと理解する) ワンカラー、ラメグラデーション
5	基本アート練習②	基本的なデザインを学ぶ フレンチなど
6	相モデル(復習)、アセトンオフ	相モデルで前回の復習 アセトンオフの仕方を学び実践
7	トレンドアート①	トレンドアートの練習をする
8	トレンドアート②	トレンドアートの練習をする
9	相モデル、基本アート練習③	テストに向けて相モデル練習を行う カラーグラデーションなど
10	相モデル、実技テスト	テーマに合わせて実技テストを行う
11	トレンドアート③	ブライダルネイル(洋装)に合うトレンドアートを学び練習する
12	チップ制作①(洋装)	ブライダルネイル(洋装)に合うデザインを考えチップ制作を行う どんなデザインが流行っているのか(ドレスも含め)考える
13	トレンドアート④	ブライダルネイル(和装)に合うトレンドアートを学び練習する

14	チップ制作②(和装)	ブライダルネイル(和装)に合うデザインを考えチップ制作を行う
15	総まとめ	前期総まとめを行う
16	導入 サロンワークについて	自己紹介、導入(評価基準、授業ルール、今後の授業について) ネイルのサロンワークについて学ぶ
17	トレンドアート①	トレンドアートの練習をする
18	トレンドアート②	トレンドアートの練習をする
19	相モデル	テーマに合わせて相モデルを行う
20	エンボスアート	ジェルを使ったエンボスアートを学び実践
21	3Dアート	ジェルを使った3Dアートを学び実践
22	チップ制作	エンボスアート、3Dアートを含めブライダルネイルに合うチップ制作を行う
23	相モデル	テーマに合わせて相モデルを行う
24	相モデル 実技テスト(前半)	前半後半に別れ、相モデルで実技テストを行う ブライダルネイルに合うデザインを考える
25	相モデル 実技テスト(後半)	前半後半に別れ、相モデルで実技テストを行う ブライダルネイルに合うデザインを考える
26	トレンドアート③	トレンドアートの練習をする
27	卒業制作①	卒業制作について説明する 今までに習得した技術を活かしチップ制作をする
28	卒業制作②	卒業制作を行う
29	卒業制作③	卒業制作を行う
30	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ネイル：JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 まつエク：まつ毛エクステンション教材、美容技術理論 1、2		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイル：お客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する まつエク：積極的に先を見越した行動を起こすことができる		
到達目標	ネイル：サロンで通用する技術を学び、それを実践することが出来るように練習する。接客やトラブルシューティングまで出来るようにする。 まつエク：協力して美容業務全般に通じる力をつける		
評価基準	ネイル：実技試験１５％・小テスト１０％・提出物、授業態度１０％　・筆記テスト１５％ まつエク：中間テスト１０％・期末テスト１０％・検定１５％・授業態度１０％・提出物５％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	ネイル：JNECネイリスト検定３級／ＪＮＡジェルネイル検定初級 まつエク：美容師免許		
関連科目	ネイル：美容実践Ⅱ-D まつエク：美容技術理論Ⅱ		
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	ネイル：大矢　貴恵　他1名 まつエク：神戸瑞穂	実務経験	○
実務内容	ネイル：ネイルサロン７年勤務後、セミナーや試験管業務にあたる まつエク：横浜市内でサロン現場経験を積み、現在開業して自身のサロンで施術を行う		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイル：3級筆記対策 まつエク：オリエンテーション	ネイル：3級筆記ABCDEの5パターンで合格点を目指す。 まつエク：自己紹介・プロアクティブについて・ルール・流れ・用具配布・ワゴンセッティング
2	ネイル：ペイントアート【チップ】 まつエク：まつ毛エクステンション概要、用具・材料	ネイル：チェック、レース、モロッコ、トトロ デモ（20分） まつエク：座学/教科書、プリント、実技/道具ラベル貼り・ワゴンセッティング・かき分け

3	ネイル：ジェルアート【自分の爪】 まつエク：まつ毛クステンション概要 用剤	ネイル：デモ（１０分）「シースルー」５本「ツイード」５本 トレーニングコートを使用して自分の爪にジェルアート まつエク：座学/教科書、プリント、実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
4	ネイル：エンボスアート まつエク：衛生管理	ネイル：ミクスチュアの作り方と練習。（１０分）エンボス（花・ハート）デモ（各１０分）→１枚ずつチップに作成 （各３０分） まつエク：座学/教科書、プリント、実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
5	ネイル：エンボスアート【作品提出】 まつエク：衛生管理	ネイル：エンボス（カメラア）デモ（１０分）→チップ作成（４０分）エンボス（くま）デモ（１０分）→チップ作成 （４０分） まつエク：座学/教科書、プリント、実技/ワゴンセッティング・かき分け・装着
6	ネイル：ジェルアート【相モデル】 まつエク：保健、皮膚の構造・アレル ギー	ネイル：デモ（２０分） ジェルアート（４０分）×２ 「カエルと虹」 まつエク：座学/教科書、プリント、実技/シートタイプ装着
7	ネイル：ジェル＋アート【相モデル】 まつエク：中間テスト、保健、眼の構 造	ネイル：カラー５本（好きなカラー）＋ジェルアート(キャラクター)1本（４０分）×２ チェック（１０分）×２ まつエク：習った範囲までの筆記、実技テスト・座学/教科書、プリント・実技/テーピング
8	ネイル：ジェル＋アート【相モデル】 まつエク：保健、眼の病気	ネイル：カラー５本（好きなカラー）＋ジェルアート(キャラクター)1本（４０分）×２ チェック（１０分）×２ まつエク：座学/教科書、プリント・実技/テーピング
9	ネイル：行事準備 まつエク：まつ毛の構造	ネイル：行事準備 まつエク：座学/教科書、プリント・実技/装着、リムービング練習
10	ネイル：行事準備 まつエク：カウンセリング	ネイル：行事準備 まつエク：座学/教科書、プリント・実技/装着、リムービング練習
11	ネイル：トリートメント まつエク：期末テスト	ネイル：トリートメントデモ（１０分）トリートメント 相モデル（３０分→１５分×２） 小テスト（筆記）トリートメント手順 まつエク：座学/全範囲・実技/ワゴンセッティング・装着50本
12	ネイル：ジェルアート【相モデル】 まつエク：デザイン、カラー	ネイル：デモ（２０分）ジェルアート（４０分）×２ １カラー５本＋「リボン」 まつエク：ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど長さとかールを選んでデザインする
13	ネイル：ジェルアート【チップ】 まつエク：デザイン、カラー	ネイル：ジェルアート テーマ「ゲーム」５本（９０分） まつエク：ナチュラル・キュート・グラマラス・セクシーなど長さとかールを選んでデザインする
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	ネイル：ジェルアート【相モデル】 まつエク：長さデザイン	振り返り・解説
16	ネイル：２級 実技練習 まつエク：長さデザイン	ネイル：２級実技練習を行う まつエク：様々な長さによるデザインとかウンセリングの仕方について
17	ネイル：２級 実技練習 まつエク：長さデザイン	ネイル：２級実技練習を行う まつエク：様々な長さによるデザインとかウンセリングの仕方について

18	ネイル：2級 実技練習 まつエク：長さデザイン	ネイル：2級実技練習を行う まつエク：様々な長さによるデザインとカウンセリングの仕方について
19	ネイル：ジェルアート まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：サロンワークで通用するようなアートを学び、練習する。 まつエク：検定対策模試
20	ネイル：ジェルアート まつエク：アイラッシュ検定対策	サロンワークで通用するようなアートを学び、練習する。 まつエク：検定対策模試
21	ネイル：マシーン ケア まつエク：中間テスト	ネイル：マシーンを使用してケアを練習する まつエク：全範囲
22	ネイル：マシーン ケア まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：マシーンを使用してケアを練習する まつエク：検定対策模試
23	ネイル：マシーン オフ まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：マシーンでのオフを学ぶ まつエク：検定対策模試
24	ネイル：マシーン オフ、実技試験・ 筆記試験 まつエク：アイラッシュ検定対策	ネイル：マシーンオフの実技試験と筆記試験を行う まつエク：検定対策模試
25	ネイル：座学 B58ケア 相モデル まつエク：検定振り返り、デザイン見 本作成	ネイル：国試のネイル部分の内容とJNAとの違いを学ぶ。 まつエク：カウンセリングに使用するデザイン見本を作成
26	ネイル：筆記試験、カラーリング まつエク：カウンセリングによる、課 題解決授業	ネイル：前週の内容の筆記試験を行う。 まつエク：クレームや考えうるトラブルを想定し、ディスカッションする・出てきた課題に対して対応策を協議、共有 する
27	ネイル：ジェル まつエク：カウンセリングシート作成	ネイル：ジェルネイル技術を行う まつエク：予約時、施術前、施術後、ホームケアに関するカウンセリングシート等を作成する
28	ネイル：ジェル 作品制作 まつエク：カウンセリング動画学習	ネイル：作品制作を行う まつエク：これまでの学習を通して、実際のサロンと同じようにカウンセリングをする様子を互いに撮影し、フィード バックする
29	ネイル：ジェル 作品制作 まつエク：期末テスト	ネイル：作品制作を行う まつエク：レポート提出
30	ネイル：総まとめ まつエク：国試技術理論対策	ネイル：総まとめを行う まつエク：国家試験の技術理論の復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	A B E text book Assisutant director		出版社	日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステンションの取り扱いや正しい知識技能による装着		
到達目標	まつ毛エクステンション技術者認定試験合格を目指す		
評価基準	実技テスト30％　筆記テスト30％　提出物20％　授業態度20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師免許		
関連科目	美容実習		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果
2	1年次復習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディエステティックとは	1コマ：授業準備・ルールについて（各校） 1コマ：ベッドセッティング
3	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい

4	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	接客マナー（相モデル）	1コマ：基本動作・ベッド誘導 ボディトリートメント/手の使用部位
5	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	前操作（相モデル）成績評価①	ボディトリートメント流れ 前操作デモ・練習
6	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
7	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	テスト解説	テストの振り返り・解説
8	サロンワーク技術練習	振り返り・解説
	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
9	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディマッサージ 下肢後面 4	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導
10	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	ボディ実技試験 成績評価②	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導 成績評価②
11	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ
12	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：基本手技・HOTタオルの流れシュミレーション 1コマ：練習
13	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ1～7(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
14	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル1～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Iプリント)
15	総合授業	総まとめを行う

16	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 3	フェイシャルマッサージ通し練習
17	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマッサージ 4	フェイシャルマッサージ通し練習
18	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 1	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り－整肌
19	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルクレンジング 2	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～ふき取り－整肌
20	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
21	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント) －マッサージーふき取り－整肌－誘導
22	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル	通し練習 ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ⅰプリント)－マッサージーふき取り－整肌－誘導
23	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価①	ご案内－フェイシャルクレンジングーマッサージーふき取り－整肌－誘導 成績評価①
24	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 1	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 1コマ：通し練習 ご案内－消毒－クレンジングーマスクーふき取り－整肌－誘導
25	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャルマスク 2	通し練習 ご案内－消毒－クレンジングーマスクーふき取り－整肌－誘導
26	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内－消毒－クレンジングーマッサージーマスクーふき取り－整肌－誘導
27	サロンワーク技術練習・小テスト	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習 ご案内－消毒－クレンジングーマッサージーマスクーふき取り－整肌－誘導

28	サロンワーク技術練習	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル総合	通し練習　ご案内－消毒－クレンジング－マッサージ－マスク－ふき取り－整肌－誘導
29	振り返り	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客を学ぶ 施術時間・道具管理・接客対応・言葉遣い・様々な対応方法などあらゆる視点から接客を考える
	フェイシャル実技試験 成績評価②	通し練習　ご案内－消毒－クレンジング－マッサージ－マスク－ふき取り－整肌－誘導
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークF		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークF		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	美容道具一式・美容技術理論Ⅰ		出版社	日本理美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	協調性の意識を高め、アシスタントとしての心得・基礎技術を習得する。		
到達目標	サロンワーク知識の理解と実践		
評価基準	総まとめ30％　まとめ20％　提出物20％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	美容実習Ⅱ－A・B・C・D・E・F　美容実践Ⅱ－A		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	森山雄斗	実務経験	○
実務内容	サロン勤務歴9年、髪カリスマ受賞、雑誌ヘアメイク多数担当、フォトコン受賞		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】

回数	単元	内容
1	イントロダクション	自己紹介、授業の目的、ルール、フリーデザインウィッグ制作スケジュール、デザイン考案
2	カット	ベーシックカット、理論
3	カット	ベーシックカット、理論
4	スタイリング	コテ、アイロン、パーマロッドを使用したスタイリング
5	スタイリング	コテ、アイロン、パーマロッドを使用したスタイリング
6	ウィッグ仕込み①	テストに向けての仕込み①

7	ウィッグ仕込み②	テストに向けての仕込み②
8	ウィッグ仕込み③	テストに向けての仕込み③
9	まとめ	ウィッグ制作テスト
10	シャンプー	シャンプー＆スパ技術
11	シャンプー	シャンプー＆スパ技術
12	サロンマナー	接客について
13	サロンマナー	アシスタントの仕事
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総合授業	振り返り・解説
16	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
17	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
18	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
19	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
20	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
21	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
22	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
23	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
24	サロンワーク技術・知識	サロンで活用できる技術・知識・接客について
25	卒業制作	卒業制作準備①
26	卒業制作	卒業制作準備②
27	卒業制作	卒業制作準備③
28	卒業制作	卒業制作準備④
29	総まとめ	卒業制作完成 期末試験
30	総合授業	後期振り返り